

Cエリア脇雨水移送ラインからの漏えいについて

1. 概要

3 / 19 (木) 9 : 20頃、雨水移送を開始したCエリアと
 J2エリア間の雨水移送ライン (ホース) より漏えいが発生。

2. 経過

- 8 : 20 作業打ち合わせ
- 9 : 20 C東エリア H5エリアへの雨水移送開始
 (実際は角水槽 (淡水化RO脇)
 H5雨水回収タンクへのラインで間違えて移送)
- 9 : 55 漏えいを確認し、移送ポンプ停止
- 10 : 29 角水槽→H5雨水回収タンクへのラインから
 漏えいしている事を確認
- 10 : 31 パワープロベスターによる漏えい水回収開始
- 11 : 05 " " 漏えい水回収終了
 (約9 m³)

(参考 : 角水槽 H5雨水回収タンクへのラインへの移送
 量は約10m³)

3. 漏えいした水の分析結果

他の堰内雨水と同等な値であることを確認

Cs-134	Cs-137	Sr-90
ND (10)	ND (17)	7

単位 : Bq/L

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す



(1:淡水化RO装置用の雨水受入タンク、処理タンクの
 堰内雨水を回収するためのタンク)

暫定排水基準 (単位 : Bq/L)

Cs-134 : 15 Cs-137 : 25 Sr-90 : 10

Cエリア脇雨水移送ラインからの漏えいについて

4. 現場状況

- ・ C東エリア H5エリアへの雨水移送を行う予定であったが、誤って角水槽 H5雨水回収タンクへのラインの移送を行った。(同一分電盤内のNFB)
- ・ 誤移送したホースは、以前淡水化RO装置用の雨水タンク用の堰内から回収した比較的きれいな雨水を移送するために使用していたもので、現在は使用していない。
→ホースに割れがあったため、漏えい発生
- ・ 漏えいは数mの範囲内(C-J2エリア間)で全て回収済みであり、海洋への流出は無い。

